

Windows XPからの移行はどれだけ進み、何が障壁となっているのか？PC管理/運用ソリューションの秘訣とは？

2014年版 中堅・中小企業におけるPC環境の実態と展望レポート案内

本ドキュメントは「調査対象」「設問項目」および「試読版」を掲載した調査レポートご紹介資料です。

調査対象ユーザ企業属性:	「どんな規模や業種の企業が対象かを知りたい」⇒	1ページ
設問項目:	「どんな内容を尋ねた調査結果なのかを知りたい」⇒	2ページ
本レポートの試読版:	「調査レポートの内容を試し読みしてみたい」⇒	3～6ページ

[調査レポートで得られるメリット]

1. 年商/業種/従業員数/地域といった様々な観点で市場動向を把握することができます。
2. 収録されているデータをカタログや販促資料などに引用/転載いただくことができます。

調査対象ユーザ企業属性

本レポートでは以下のような属性に合致する1087件(有効件数)のサンプルを抽出した調査を行っています。情報システムの決済/選定ないしは運用/管理といった適切な職責を持った社員を調査の対象としています。

有効サンプル数: 1087サンプル

年商区分:

- ・5億円未満(SOHO/小規模企業クラス)
- ・5億円以上～50億円未満(中小企業クラス)
- ・50億円以上～100億円未満(中堅Lクラス)
- ・100億円以上～300億円未満(中堅Mクラス)
- ・300億円以上～500億円未満(中堅Hクラス)

職責区分: 以下のいずれかの職責を持つ社員

- ・企業の経営に関わる立場であり、IT関連投資の決裁を下す立場
- ・企業の経営に関わる立場であるが、IT関連投資の決裁には直接関わらない立場
- ・ITの導入/選定/運用作業に関わり、社内の経営層に対する提案も行う立場
- ・ITの導入/選定/運用作業に関わるが、社内の経営層に対する提案は行わない立場

従業員数区分: 10人未満 / 10人以上～20人未満 / 20人以上～50人未満 / 50人以上～100人未満 / 100人以上～300人未満 / 300人以上～500人未満 / 500人以上～1000人未満 / 1000人以上～3000人未満 / 3000人以上～5000人未満 / 5000人以上

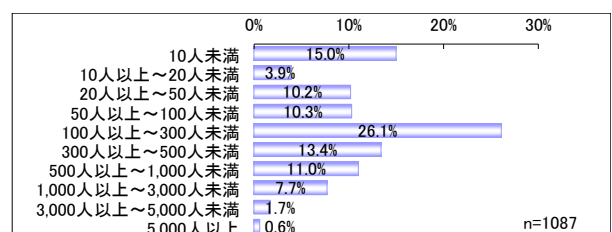
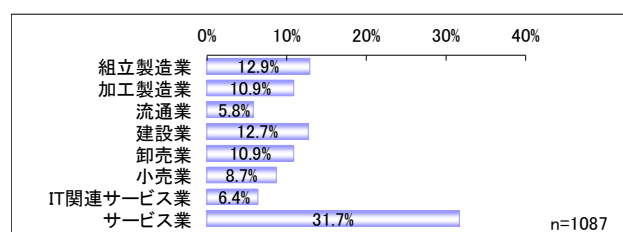
業種区分: 組立製造業 / 加工製造業 / 流通業(運輸業) / 建設業 / 卸売業 / 小売業 / IT関連サービス業 / サービス業(IT以外) / その他

地域区分: 北海道地方 / 東北地方 / 関東地方 / 北陸地方 / 中部地方 / 近畿地方 / 中国地方 / 四国地方 / 九州・沖縄地方

調査実施時期: 2014年4月～5月

企業規模(年商、従業員数)、業種、地域といった様々な属性を切り口とした集計が行えるように(特定の属性においてサンプル件数が著しく少なくならないように)サンプルを抽出しています。

以下のグラフは1087件の有効回答サンプルの「業種」および「従業員数」の分布を表したものです。業種では「サービス業」、従業員数では「100人以上～300人未満」の区分におけるサンプル数が比較的多くなっていますが、集計や分析は企業規模、業種、地域ごとに行っており、特定の企業規模や業種のサンプル過多によって分析結果が左右されないように配慮されています。



設問項目

本レポート設問の多くは与えられた選択肢から該当するものを選ぶ選択式となっています。特に記載がない場合は選択肢を一つのみ選ぶ「単一回答設問」、設問文の末尾に「いくつでも」「3つまで」といった指定がある場合には「複数回答設問」となります。また(数値)と付記された設問は金額や台数などの数値を入力して回答する形式の設問であり、集計データ上は結果の平均値が掲載されています。

<<Windows XP搭載PCの残存状況に関する設問 (C1系列)>>

C1系列設問では依然としてWindows XPを搭載するPCを利用しているユーザ企業の割合、移行が完了しない要因およびその対策などについて尋ねています。

C1-1.Windows XP搭載PCの残存状況

C1-2.Windows XP搭載PCの残存台数(数値)

C1-3.Windows XPから新しいOSへの移行が完了していない理由(いくつでも)

C1-4.Windows XPのサポート終了対策として、既に実施済みまたは実施予定の取り組み(いくつでも)

C1-5.Windows XPから新しいOSへの移行に際し、有償でも利用したいと考える支援策(いくつでも)

C1-6.Windows XPからの有償での移行支援に対して拠出可能な金額(PC1台当たり:万円)(数値)

C1-7.Windows XPから新しいOSへの移行が完了するまでに要する期間

C1-8.Windows XPから移行する際の新しいPCハードウェアの形態(いくつでも)

デスクトップPCやノートPCに加えて、タブレットやデスクトップ仮想化といった選択肢も含む。

C1-9.Windows XPから移行する際の新しいOS(いくつでも)

<<PC活用の現状と今後に関する設問 (C2系列)>>

C2系列設問では「導入済みPCのOSや形態」や「今後導入予定のPCのOSや形態」などを尋ねています。

C2-1.現在利用しているPCハードウェアの形態(いくつでも)

デスクトップPC/ノートPC/ワークステーション/タブレットといった形状に加えてデスクトップ仮想化の活用有無なども含む。

C2-2A.現在利用しているPCのOS(いくつでも)

C2-2B.現在利用しているPCのOS(詳細)(いくつでも)

[C2-2B]の設問において、WindowsOSのエディションについても細分化したものの

C2-3.PCの新規導入や入れ替えを行うきっかけ(いくつでも)

C2-4.PCの新規導入や入れ替えを行う最も近い時期

C2-5.今後導入を予定しているPCハードウェアの形態(いくつでも)

デスクトップPC/ノートPC/ワークステーション/タブレットといった形状に加えてデスクトップ仮想化の活用有無なども含む。

C2-6A.今後導入を予定しているPCのOS(いくつでも)

C2-6B.今後導入を予定しているPCのOS(詳細)(いくつでも)

[C2-6B]の設問において、WindowsOSのエディションについても細分化したものの

<<PCの管理/運用における取り組みに関する設問 (C3系列)>>

C3系列設問では「これから取り組みたいPC管理/運用の項目」や「その取り組みを実現するための望ましいと考える手段」などといったようにPC管理/運用に関連する事柄について尋ねています。

C3-1.既に実施済みのPC管理/運用に関する取り組み(いくつでも)

セキュリティ、データ保全、データ共有などPCに関連する多種多様な選択肢を網羅した上で、既に実施済みの取り組みについて尋ねています。

C3-2.現在は未着手だが、これから取り組みたいPC管理/運用に関する項目(いくつでも)

[C3-1]で選ばれなかった項目のうち、これから取り組みたいものを尋ねています。

C3-3.最も優先したいPC管理/運用に関する項目

[C3-2]で選ばれた項目のうち、最も優先して取り組みたいものを尋ねています。

C3-4.PC管理/運用に関する最優先項目を実現する際の最も望ましい実現手段

[C3-3]で回答した項目を実現する際の実現手段として望ましいものを尋ねている。「ソフトウェアパッケージ導入」「アウトソーシングサービス活用」「デスクトップ仮想化の活用」などといった具体的な実現方法を選択肢として挙げています。

C3-5.PC管理/運用に関する最優先項目を実現する際に必要と考える条件(いくつでも)

[C3-4]で回答した実現方法を自社で採用する際に満たす必要がある条件について尋ねています。「PCハードウェアを変更する必要がないこと」「ミドルウェアの導入が不要なこと」などといったようにシステム提案において制約条件となりうる様々な条件を選択肢として挙げています。

本レポートの「分析サマリ」では24ページに渡り、「Windows XPの残存状況とそれに対する対策」、「導入済み/導入予定のPCハードウェア形態やOSの状況」「PC管理/運用におけるニーズとソリューション提案のポイント」などについて分析と提言を行っています。以下のレポート試読版では「分析サマリ」の一部を紹介しています。

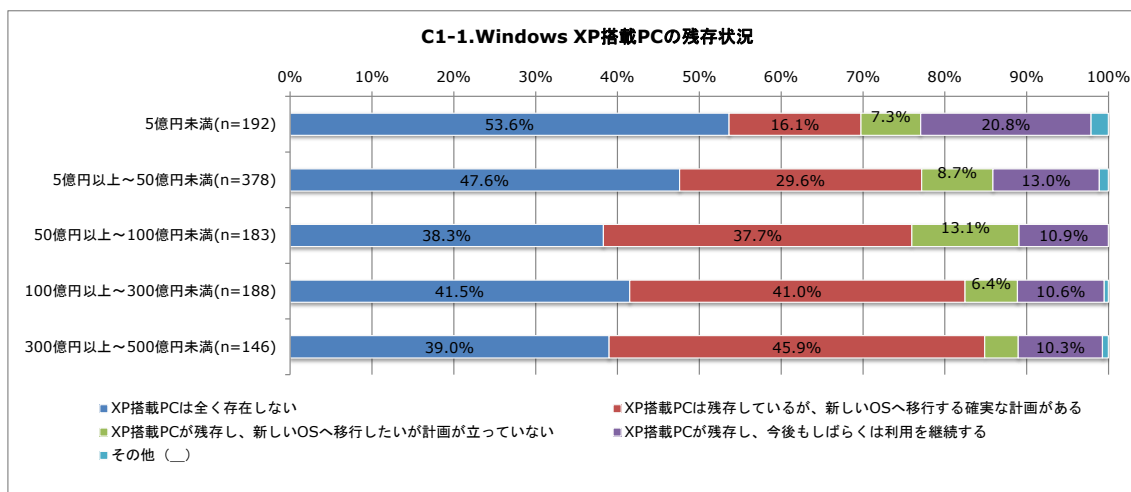
2014年版 中堅・中小企業におけるPC環境の実態と展望レポート 分析サマリ

このドキュメントは「2014年版 中堅・中小企業におけるPC環境の実態と展望レポート」に含まれる各種集計結果データに関する分析と考察をまとめたものである。集計データの結果を掲載する場合には当該ファイルの格納場所も併記している。

1. Windows XP 搭載 PC の残存状況

Windows XP は 2014 年 4 月にサポートが完全終了したが、期限までに新しい OS に移行することができなかったユーザ企業も少なからず存在する。本章ではそうした Windows XP 搭載 PC の残存状況について確認していくことにする。

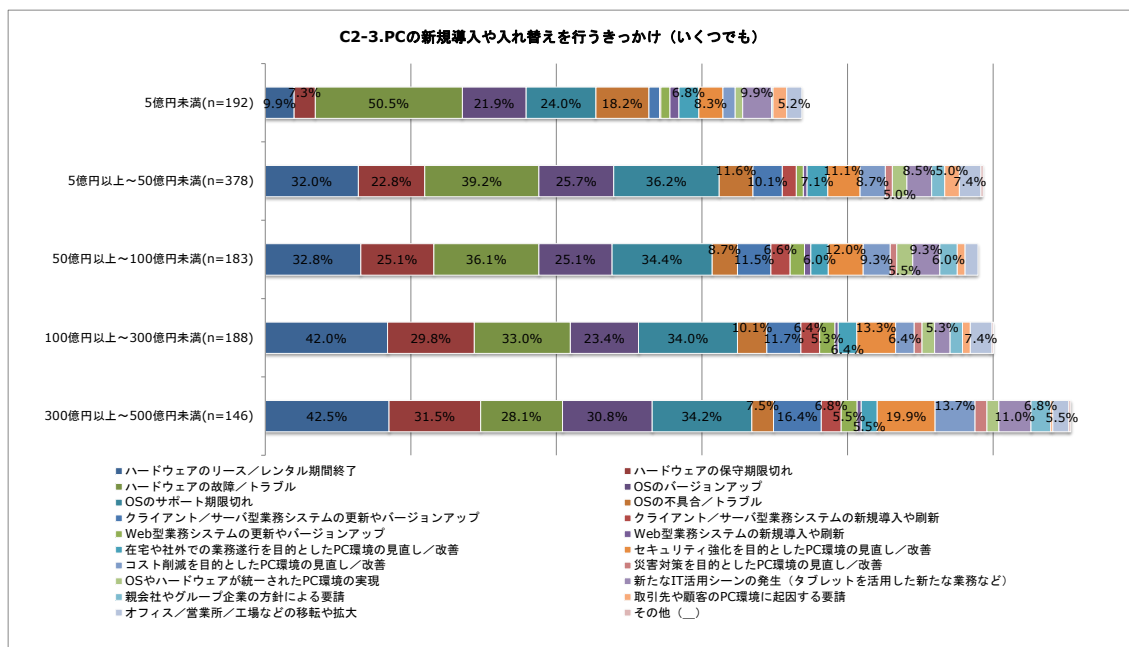
以下のグラフは年商 500 億円未満の中堅・中小企業に対して、「Windows XP 搭載 PC の残存状況」を尋ねた結果を年商別に集計したものだ。(集計データ ¥ 主要分析軸集計データ ¥ [C1 系列] ([A1] 表側). xls)



「今後もしばらくは利用を継続する」という回答の割合は年商規模が小さくなるにつれて高くなり、年商 5 億円未満の小規模/SOHO 企業層では 20.8%に達している。こうした企業層に対しては Windows XP の利用を継続することのリスク啓蒙を続けると共に新しい OS への移行を支援する取り組みが必要となってくる。

以下のサンプルは「中堅・中小企業がPCの新規導入や入れ替えを行うきっかけ」について記述している章の一部です。このように様々な調査データの集計/分析を駆使して、PC環境を取り巻く実態と今後取るべきアプローチについて解説しています。

では Windows XP からの移行に限らず、中堅・中小企業が PC の新規導入や入れ替えを行うきっかけとしてはどのようなものがあるのだろうか？以下のグラフは年商 500 億円未満の中堅・中小企業に対して、「PC の新規導入や入れ替えを行うきっかけ」を尋ねた結果を年商別に比較をしたものだ。(集計データ ¥ 主要分析軸集計データ ¥ [C2 系列] ([A1] 表側). xls)



上記のグラフを見ると、年商 5 億円を境界線として傾向に差があることがわかる。

まず、年商 5 億円未満の小規模企業クラスでは「ハードウェアの故障/トラブル」が 50.5% と過半数を占める。逆に言えば、故障やトラブルが起きない限りは PC の刷新を行わないという傾向といえる。実際、既に見たように同年商帯では Windows XP からの移行についても他年商帯と比べて遅れている。同年商帯に属する企業数は多いが、PC を販売する販社/Sier にとっては訴求が難しい企業層といえる。

一方、年商 5 億円以上の中小企業クラスおよび中堅企業クラスにおいては「ハードウェアのリース/レンタル終了」(※1)、「ハードウェアの故障/トラブル」(※2)、「OS のサポート切れ」(※3)が比較的多く挙げられている。※1 は年商規模が大きくなるにつれて回答割合も高くなり、※2 はその逆の傾向、※3 は年商規模によらず一定の割合となっている。どの項目もユーザ企業による能動的な取り組みではなく、「PC 環境を維持するためにやむを得ず行う刷新」に該当する。PC を販売する販社/Sier にとっては確実な更新需要ではあるが、ユーザ企業は「現状を維持したいだけなのにコスト負担が大きい」と感じてしまいやすい。更新重要であっても、新しい PC がもたらすメリットを丁寧に訴求することが重要である。

レポート試読版3(「主要分析軸集計データ」)

「設問項目」に掲載した設問結果を年商、業種、従業員数、地域といった基本属性を軸として集計したものは「主要分析軸集計データ」と呼ばれ、Microsoft Excel形式で同梱されています。

以下の試読版に掲載したものは「業種」を集計軸とし、[C1系列]の各設問項目を集計したものです。

画面の左上部に記載されたファイル名は『[C1系列][A3]表側.xls』となっています。[C1系列]は、レポート案内の2ページに記載がある通り、「Windows XP搭載PCの残存状況に関する設問」に関する設問群を表します。[A3]は基本属性の3番目である業種を表しています。このようにファイル名を見れば「どの設問について何を軸として集計したものか?」がすぐわかるようになっています。

画面の最下部からは多数のシートがあることがわかります。この1シートが1つの設問結果データに相当します。[C1系列]は全部で9つの設問から構成され、主要分析軸となる各属性は年商/職責/業種/所在地(地域)/従業員数/IT管理運用体制/ビジネス拠点状況の7項目あるため、[C1系列]のみに限った場合でも主要分析軸集計データのシートは9×7=63シート存在することになります。(本レポート全体での主要分析軸集計データのシート数は百以上に及びます)

個々のシートには画面上部に軸を設定しない状態の縦帯グラフ、画面中央には年商や業種といった属性軸を設定して集計した結果の数表データ、画面下部にはその数表データを横帯グラフで表したものが掲載されるという書式になっています。

こうした「主要分析軸集計データ」を見れば、2ページに記載した設問内容を様々な属性を切り口として見ることができます。ただし、「年商5億円以上～50億円未滿かつ組立製造業」といったように2つ以上の属性を掛け合わせたものを軸とした集計結果については本レポートの標準には含まれません。

The image shows a screenshot of an Excel spreadsheet titled "[C1系列][A3]表側.xls [互換モード]". The spreadsheet contains a pivot table and a horizontal bar chart.

Pivot Table Data (Approximate):

業種	OS	OSバージョン	OSインストール済	OS起動済	OS更新済	OS起動中	OS更新中	OS更新失敗	OS更新未試	OS更新未可能	OS更新不明	OS更新不明	OS更新不明	OS更新不明	OS更新不明
組立製造業	32	17.2%	49	1.7%	29	9.7%	2	0.7%	2	0.7%	32	10.3%	12	3.8%	
IT関連サービス業	27	26.8%	2	1.9%	1	0.7%	1	0.7%	1	0.7%	1	0.7%	1	0.7%	

Horizontal Bar Chart Data (Approximate):

業種	OS	OSバージョン	OSインストール済	OS起動済	OS更新済	OS起動中	OS更新中	OS更新失敗	OS更新未試	OS更新未可能	OS更新不明	OS更新不明
組立製造業 (C1-3)	28.1%	11.0%	16.9%	1.7%	14.9%	0.7%	1.2%	1.2%	1.2%	0.7%	2.0%	2.0%
IT関連サービス業 (C1-3)	26.8%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%

Text at the bottom of the chart:

Windows XPから側しOSへの移行が完了しない理由 (いくつかの)

- PCハードウェアOSの要求を満たさない
- OSバージョンアップが実行されていない
- OS更新時に電源が切れてしまう
- OS更新時にネットワーク接続が断れる
- OS更新時にソフトウェアの更新が完了しない
- OS更新時にソフトウェアの更新が完了しない
- OS更新時にソフトウェアの更新が完了しない
- OS更新時にソフトウェアの更新が完了しない

禁転載/禁抜粋: Copyright©2014by Nork Research Co.,Ltd. All Rights Reserved.

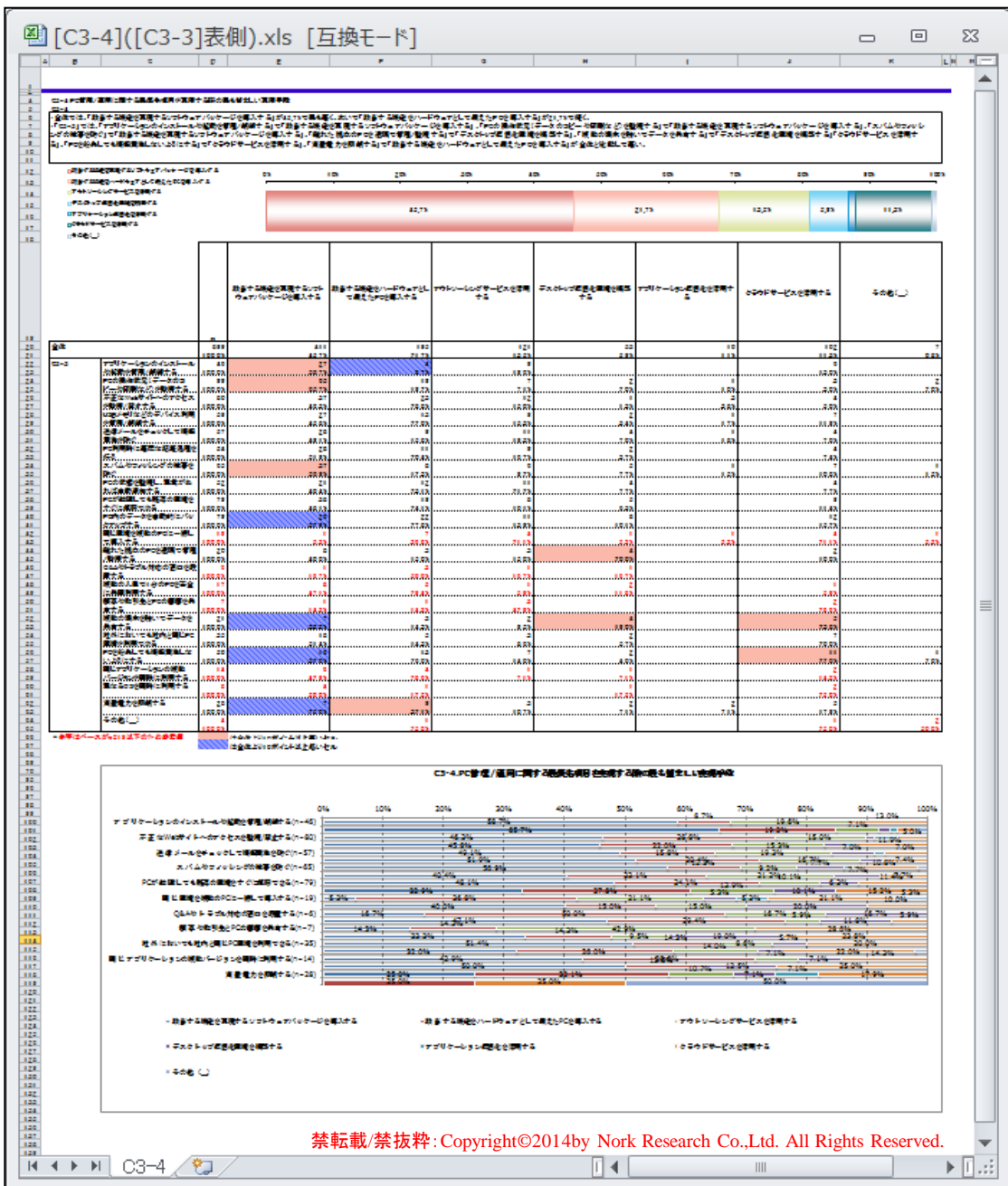
レポート試読版4(「質問間クロス集計データ」)

「設問項目」に掲載した設問結果を他の設問結果を軸として集計したものが、「質問間クロス集計データ」です。主要分析軸集計データと同様にMicrosoft Excel形式で同梱されています。

以下の試読版に掲載されているのは「PC管理/運用に関する最優先項目を実現する際の最も望ましい実現手段」について尋ねた結果を「最も優先したいPC管理/運用に関する項目」を集計軸とし、最優先のPC管理/運用に関する項目毎に「最も望ましい実現手段は何か？」を確認できるようにしたものです。

画面の左上部に記載されたファイル名は『[C3-4]([C3-3]表側).xls』となっています。本レポート案内の2ページに記載があるように、項番[C3-4]は「PC管理/運用に関する最優先項目を実現する際の最も望ましい実現手段」という設問を指します。一方、[C3-3]は「最も優先したいPC管理/運用に関する項目」を尋ねた設問を指します。前者の結果を後者を軸として集計することにより、「アプリケーションのインストールや起動を管理/制御する」という取り組みを実現する際の手段としては「ソフトウェアによる実現」や「クラウドサービスの活用」など様々な手段のうちでどれが最も望まれているか？を知ることができます。

個々のシートには画面上部に軸を設定しない状態の縦帯グラフ、画面中央には特定の設問を軸として設定した集計結果の数表データ、画面下部にはその数表データを横帯グラフで表したものが掲載されるといった書式になっています。



本レポートの価格とご購入のご案内

【価格】180,000円(税別)

【媒体】CD-ROM (分析サマリ: PDF形式、集計データ: Microsoft Excel形式)

下記、より本レポートのダイジェスト(サンプル)をご覧ください

ダイジェスト1: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2014PC_usr_rel1.pdf

ダイジェスト2: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2014PC_usr_rel2.pdf

お申込み方法:

ホームページ(<http://www.norkresearch.co.jp>)、またはinform@norkresearch.co.jp宛にメールにてご連絡ください

その他のレポート最新刊のご案内

各レポートは「調査リリース」という形で以下URLよりダイジェスト/サンプルをご覧ください。

<http://www.norkresearch.co.jp/result/release.html>

※各「レポート案内」の末尾にもダイジェスト/サンプルのURLが記載されています

サーバ関連レポート3部作(各冊:180,000円税別)、2冊同時購入(240,000円税別)、3冊同時購入(380,000円税別)

「2013年版 中堅・中小企業におけるサーバ仮想化活用の実態と展望レポート」

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2014server_usr_rep1.pdf

「2013年版 中堅・中小企業におけるサーバ購入先選定の実態と展望レポート」

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2014server_usr_rep2.pdf

「2013年版 中堅・中小企業におけるサーバ管理課題の実態と展望レポート」

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2014server_usr_rep3.pdf

「2013年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」

14分類に及ぶ製品/サービスの社数ベース導入シェア、ユーザ企業評価、これから重視すべきニーズを集約

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013itapp_rep.pdf

価格:180,000円(税別)

「2013年版 中堅・中小企業の業務システム購入先のサービス/サポート評価レポート」

クラウドやスマートデバイスといった新たな商材の登場は購入先/委託先の分散を引き起こす要因となるのか?

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013SP_rep.pdf

価格:180,000円(税別)

「2013年版 中堅・中小企業におけるERP/BI活用の実態と展望レポート」

ERPやBIの製品やソリューションを提供するIT企業が次の一手として何に注力すべきかの具体策を与える一冊

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013ERP_usr_rep.pdf

価格:180,000円(税別)

「2013年版 中堅・中小企業におけるIT投資の実態と展望レポート」

IT投資を広く底上げする政策が不足する中、今後期待される成長分野/業種はどこなのかを明らかにした一冊

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2013IT_usr_rep.pdf

価格:180,000円(税別)

本データの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。

引用・転載のポリシー: <http://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>

本ドキュメントに関するお問い合わせ

NORKRESEARCH

株式会社 ノークリサーチ 担当: 岩上 由高

東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705

TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692

inform@norkresearch.co.jp

www.norkresearch.co.jp